



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	エブリィビッグデー清水町堂産店	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.7	/5	がんばんろう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.7	/5	がんばんろう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0	/5	ふつつ		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0	/5	がんばんろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばんろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	2.7	
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 空調設備は各室個別制御としている。内装材は全てF★★★★を使用し、内部環境の快適性に配慮している。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 可能な限り緑地を設けて、街並みに調和するように配慮している。</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) 高効率設備機器を導入し、建物の省エネルギー化を図っている。</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) 内装はLGS+ボード+仕上材とし、躯体と仕上材が容易に分別出来るように配慮している。環境特性の高い発泡ウレタンフォーム:アクアフォームNEOを採用している。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 照明は全てLEDとしている。駐車場照明は外部へ照射しない等、敷地外環境に配慮している。</p>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 ⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善		
	"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	2.7
	<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ハリアフリー法に準拠している。売場天井高は3.9mとし、快適性を得るように配慮している。内装材は耐用年数の長い材料を採用し、建物の長寿命化を図っている。</p>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
		"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点
	<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱ハリアフリー法に準拠している。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 可能な限り緑地を設けて、街並みに調和するように配慮している。</p>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ㉑	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.0	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) 可能な限り緑地を設けて、環境の向上に配慮している。</p> <p>■敷地外環境対策 (㉕持続可能な森林から産出された木材/㉖温熱環境悪化の改善) 躯体と仕上材が容易に分別できるように配慮している。外部照明をLEDとし敷地外環境に配慮している。</p>	Q-3 1 ⑵ 2 ⑶ 3 3.2 ⑷ LR-2 2 2.5 ⑸ LR-3 2 2.2 ⑹	⑵ 生物環境の保全と創出 ⑶ まちなみ景観への配慮 ⑷ 敷地内温熱環境の向上 ⑸ 持続可能な森林から産出された木材 ⑹ 温熱環境悪化の改善		

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	エブリビッグデー清水町堂庭店	階数	地上2F
建設地	静岡県駿東郡清水町堂庭字前田20	構造	S造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	350 人
地域区分	7地域	年間使用時間	5,400 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2022年5月20日
敷地面積	5,926 m ²	作成者	山田充
建築面積	2,493 m ²	確認日	2022年5月21日
延床面積	2,488 m ²	確認者	山田充



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目目で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR のスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。環境に配慮する為、建築規模ならびに建物高さを抑制し、敷地周辺部に緑地を配置して、計画した。照明器具は内部、外部にLEDを採用し省エネルギー化を図っている。		その他 残土処分が少なくなるように、外構レベルを調整し緑地率を4%以上確保した。
Q1 室内環境 空調設備は各室個別制御としている。内装材は全てF★★★を使用し、内部環境の快適性に配慮している。	Q2 サービス性能 バリアフリー法に準拠している。売場天井高は3.90mとし、快適性を得るよう配慮している。内装材は耐用年数の長い材料を採用し、建物の長寿命化を図っている。	Q3 室外環境(敷地内) 可能な限り緑地を設けて、まちなみに調和するよう配慮している。
LR1 エネルギー 高効率設備機器を導入し、建物の省エネルギー化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 内装はLGS+ボード+仕上とし、躯体と仕上材が容易に分別できるよう配慮している。環境特性の高い硬質ウレタンフォーム: アクアフォームNEOを採用している。	LR3 敷地外環境 外部照明は全てLEDとしている。駐車場照明は外部へ照射しない等、敷地外環境に配慮している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される